

第4回高齢者医療臨床研修会開催報告

研修委員会幹事 瀬田高志

第4回日本老年歯科医学会高齢者医療臨床研修会が福岡支部、佐賀支部、長崎支部、大分支部、熊本支部、宮崎支部、鹿児島支部の共催、また福岡県歯科医師会、佐賀県歯科医師会、長崎県歯科医師会、大分県歯科医師会、熊本県歯科医師会、宮崎県歯科医師会、鹿児島県歯科医師会の後援を受け、2018年3月18日(日)「JR博多シティ会議室」にて開催されました。

第3回(東京開催)と同様に「在宅高齢者などに対する歯科治療のリスク管理～地域の新たなかかりつけ歯科医を目指して～」をテーマとし、原土井病院みどりのクリニック 長尾哲彦先生から「身体所見から読み解く高齢者の健康状態」、昭和大学医学部麻酔科学講座 岡 秀一郎先生から「在宅高齢者訪問歯科診療におけるリスク管理と緊急対応」、九州歯科大学口腔保健・健康長寿推進センター 大渡凡人先生から「全身的偶発症症例から学ぶ有病高齢者のリスクマネジメント」の3演題をそれぞれご講演いただきました。

事前参加登録締切前に100名の定員が満席となり、九州地区各県から広くご参加をいただきました。当日も、主に九州地区で活動される歯科医師の熱心な姿勢に講師が応える有意義な研修会となりました。高齢者の健康を支える臨床現場の全身管理に関する期待に沿えますよう、2018年度も本会事業として高齢者医療臨床研修会を企画してまいります。



講師の先生方を囲んでの質疑応答の様子